２０２３年度 京都大学フィールド科学教育研究センター
公開実習「森里海連環学実習Ⅰ」
実施要項

１．**授業科目**：森里海連環学実習Ⅰ

実習の履修後に受講証を発行する．受講証にもとづく単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること．なお，本実習は２単位相当としている．実習は本学学部生と合同で行う．

指導教員：益田玲爾・坂野上なお・中西麻美・甲斐嘉晃・鈴木啓太・石原正恵・邉見由美・松岡俊将（京大フィールド研）・中川 光（土木研究所）

２．**実習内容**：

京都府の北部を流れる由良川は，京都大学芦生研究林を源流とし丹波地方を流れ若狭湾西部の丹後海に注ぐ．本実習では，芦生研究林内の渓流と森林の観察，由良川に沿って上流域（森林域）から和知，綾部，福知山を経由して河口域までの水質調査，魚類や水生昆虫などの水生生物調査，土地利用様式の調査を行う．森林域，里域，農地，都市などの陸域の環境が，由良川の水質，生物多様性，食物構造などにどのような影響を与えているかをじっくり観察し，森から海までの流域を複合したひとつの生態系として捉える視点を育成する．

１日目：JR園部駅　午前９時集合

芦生研究林，由良川源流の観察・調査，舞鶴水産実験所で宿泊

２日目：由良川中流・下流・河口域調査，舞鶴水産実験所で宿泊

３日目：試料の分析および解析，舞鶴水産実験所で宿泊

４日目：試料の分析および解析，舞鶴水産実験所で宿泊

５日目：報告会，午後にJR西舞鶴駅で解散

（註）天候の影響等で実習の内容は変更することがある．

３．**実施施設**：

京都大学フィールド科学教育研究センター 芦生研究林・舞鶴水産実験所

※自家用車等での来所は認めません．

４．**実施期間**：２０２３年８月７日（月）～８月１１日（金）

芦生研究林・舞鶴水産実験所への移動には公用車を利用する（複数台に分乗）．

５．**対象学生**：学部生全年次（文系・理系を問わない）

６．**定員**：最大10名　（申込多数の場合は抽選とする）

７．**注意事項・参加条件**

・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険に加入していること．

・6月9日18時30分にZoomで実施されるガイダンスにできるだけ参加すること（詳細は実習参加希望者に追って連絡する）．

・実習前１週間は体調管理に努め，体調不良の場合は実習参加を見合わせること．

・実習の様子や宿泊棟の設備などは舞鶴水産実験所のホームページを参照すること．

・集合時刻や集合場所の変更のような緊急連絡は，舞鶴水産実験所のホームページ・Twitter，メール送信により連絡するので，少なくとも１つはアクセスできる状態にしておくこと．
舞鶴水産実験所ホームページアドレス：https://www.maizuru.marine.kais.kyoto-u.ac.jp/
舞鶴水産実験所 Twitter：https://twitter.com/mai_fish_res_st

８．**必要提出書類**：

・受講願

・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険証明書（領収書等のコピーでも可）

９．**申込締切**：２０２３年６月３０日（金）１７：００ 必着

１０．**参加費用**：7,500円程度

8/9-11 の昼食３食と 8/7-10 の夕食４食の食費（500 円×7 食）と４泊分の宿泊費（900 円×4 泊）を舞鶴水産実験所で徴収する．上記以外の食費と交通費（初日の集合場所までと，最終日の解散場所以降）は各自で準備のこと．（JR 運賃：京都⇒園部　普通 590 円，西舞鶴⇒京都　特急利用 3,820 円）

１１．**提出・問い合わせ先**：

〒６２５－００８６ 京都府舞鶴市長浜無番地
京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所
電話：０７７３－６２－５５１２ FAX：０７７３－６２－５５１３
E-mail：maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 実習への参加を希望される方はメール（maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）にて早めに受講の意思を連絡し，担当職員から必要書類を受け取ること．受け取った書類に必要事項を記載のうえ，担当職員へメールを送付することで受付を完了とする．書類は個人情報を含むため，必ずパスワードをかけること．